

No.121 [Excel] 上書き保存したファイルを元に戻す方法

■ 機能紹介

Excel ファイルの内容を誤った状態で上書き保存してしまったことはありませんか。

Office2010 以降に新しく追加された「バージョンの管理」という機能を利用すれば上書き保存前の状態に戻すことが可能です。

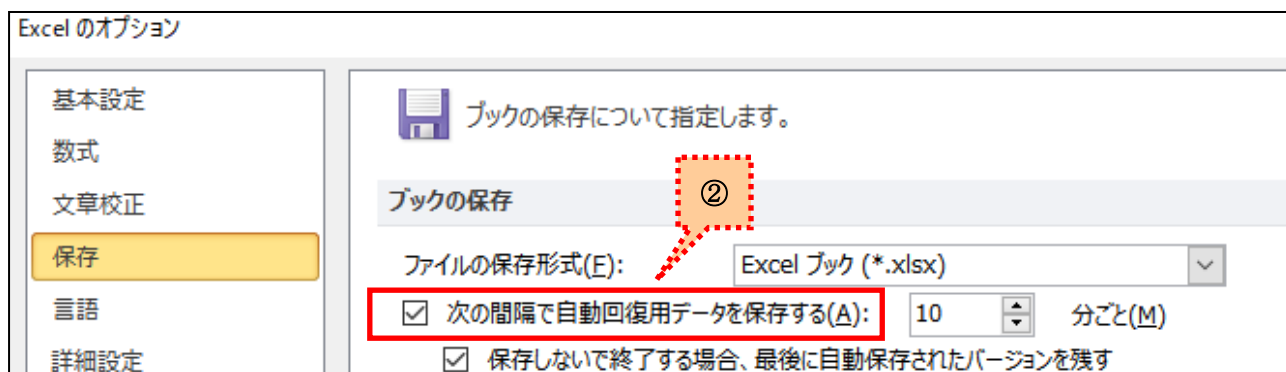
今回は、この機能を利用して上書き保存前の状態に戻す方法をご紹介します。

■ 操作方法

- ① Excel の「ファイル」タブにある「オプション」をクリックします。



- ② 「Excel のオプション」画面より「保存」を選択し、表示された「次の間隔で自動回復用データを保存する」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。
ファイルが自動保存される時間になりますので、保存したい任意の数値を入力して下さい。
今回は、「10分ごと」にしてみます。

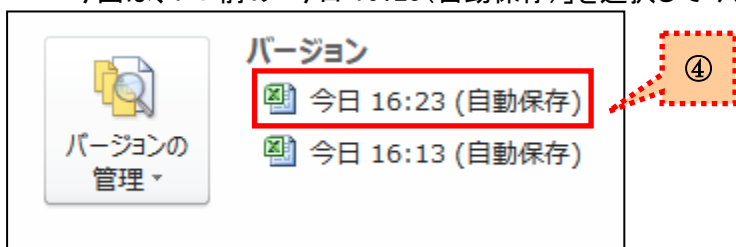


③ Excel の「ファイル」タブにある「情報」をクリックします。

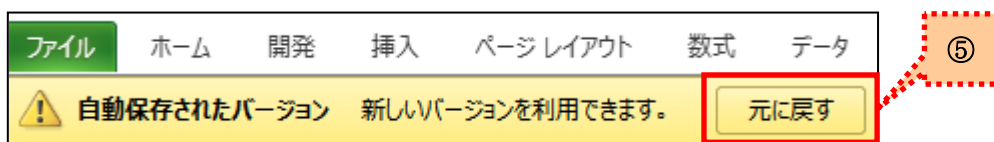


④ ②で設定した時間(間隔)でファイルの自動保存が行われます。

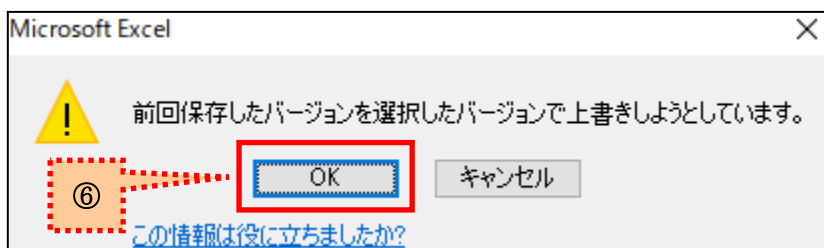
今回は、「10分ごと」にしましたので、16:13、16:23と10分間隔でファイルが自動的に保存されました。この時間表示の箇所をクリックすることで、その時間に自動保存した状態に戻すことができます。今回は、1つ前の「今日 16:23(自動保存)」を選択してみます。



⑤ ④で選択した「今日 16:23(自動保存)」の箇所をクリックした状態の Excel ファイルとなっています。「自動保存されたバージョン 新しいバージョンを利用できます。」の「元に戻す」ボタンをクリックします。



⑥ 「前回保存したバージョンを選択したバージョンで上書きしようとしています。」と表示されましたら、「OK」ボタンをクリックします。これで、④で選択した「今日 16:23(自動保存)」ファイルに戻すことができました！



Excel の他に Word や PowerPoint などでも同様の手順で復旧することができますので是非、一度設定して試してみてください。